

イベントなどでこれまで来館した作家の手の石膏像がずらりと展示されている。



でなく、外国人観光客にも好評だ。メイ  
ン展示の「マンガって何？」のコーナー  
では、マンガの歴史や産業について、詳  
しく学べる。マンガの読み方など、我々  
が普段意識していない点について、改め  
て目を向けるような構成となっている。  
その他、実際にマンガを制作できる  
ワークショップや、プロの漫画家の制作  
風景を間近に見れるコーナーなども充実  
している。現在は新型コロナウイルス感  
染症の影響で休止しているが、再開され  
た際にはぜひ体験してほしい。

### 展覧会情報

竹宮恵子監修 原画'(ダッシュ) 展示シリーズ  
「もうひとつの原画」展～東浦美津夫・飛鳥幸子・ささやななえこ・忠津陽子～

10月29日(木)～2021年4月6日(火)

「原画'(ダッシュ) プロジェクト」は、精巧な複製原画を研究・制作するプロジェクトで、マンガ家・竹宮恵子を中心に京都精華大学国際マンガ研究センターがすすめてきた。退色等劣化しやすいデリケートなマンガ原稿の保存と公開を両立させることを目的としている。本展では、プロジェクトの20周年を記念し、各作家の原画'(ダッシュ) 作品152点とともに、その特徴や意義、活躍を振り返る。



「千夜一夜物語」／©竹宮恵子

### +information

京都国際マンガミュージアム

住 所：京都市中京区烏丸通御池上ル(元龍池小学校)

T E L：075-254-7414 (代表)

U R L：https://kyotomm.jp

時 間：10:00～18:00(最終入館は17:30)

休館日：水曜日(休祝日の場合は翌日)、年末年始、メンテナンス期間

観覧料：大人900円、高校・中学生400円、小学生200円

常設展示「マンガって何？」では、年代別にマンガ作品がならべられている。



マンガを知る

京都

# 京都国際マンガミュージアム

京

都市と京都精華大学の共同事業としてスタートした、京都国際マンガミュージアム。国際マンガ研究センターや、機能マンガ(医療現場で補助資料として使用されるマンガ等)の制作やキャラクター作成を請け負う事業推進室も併設され、マンガに関する複合施設として活動している。

所蔵する資料は30万点にもほり、時代は江戸期から現代のものまで幅広い。館内にある「マンガの壁」と呼ばれる書架には、およそ5万冊のマンガが配され、来館者が自由に読めるようになっている。天気の良い日には、芝生を敷き詰めたグラウンドで寝転がりながらマンガを読む人も多く、心身共にリラックスして過ごすことができるのだ。また「研究閲覧室」では、子供の頃に読んだ懐かしい雑誌など、約25万点のマンガ資料を実際に手にとって読むことがで



きる。予約制だが、すでに市場では目にすることができないものを、間近で見られることは貴重な体験だ。日本のマンガだけでなく、海外マンガの普及にも力を入れている同館は、「マンガ万博」という棚を設けている。海外マンガや日本マンガの多言語翻訳版を約5000冊常設したこの棚は、海外マンガのファンだけ

入り口を入ってすぐに本棚が配置されている。ここは現在、海外マンガなどが揃うコーナーだ。